

令和元年度事業報告

I 概況

令和元年度の瀬戸大橋記念公園の入園者については、瀬戸内国際芸術祭 2019 や長期のゴールデンウィークにより大幅に増加し、令和2年3月には新型コロナウイルス感染症の影響により減少したものの、年間では約442,300人と前年度の約367,000人を20.5%上回った。瀬戸大橋記念館の入館者数も同様に171,675人と前年度の160,069人を7.3%上回り、過去最多となった。

球技場は、第4グラウンドの改修工事や他のグラウンドの芝生の養生により年間の利用可能回数が75回となったが、第2グラウンドの1面しか使用できなかった前年度よりは増加し、利用者数は7,790人となり、前年度の5,422人に比べ43.7%増加した。

ターゲット・バードゴルフ場については、11月から3月まで小川の築造工事により9ホールのみ使用となり、利用者数は2,864人と、前年度の2,967人の96.5%であった。

施設の管理については、記念館の映像機器や展示模型など、利用者の利便性や安全性に配慮しながら必要な修繕を行うなど、適正な維持管理に努めた。

また、令和元年度も引き続き、記念館等の中核的な建物を除く北側公園と南側公園の施設全般の維持管理を総括管理委託者に委託して実施した。

II 瀬戸大橋記念公園の管理運営について

1 にぎわいづくり

(1) イベントの開催

令和元年度は、県において瀬戸内国際芸術祭2019や「ヤドンの日」イベントなどの各種イベントを開催していただき、協会においても、香川大学さかいで沙弥島プロジェクトとともに、オンリーワンシャツ作りや凧あげ作りのイベントを実施した。また、夏休みの期間中に小学生以下の子どもにグッズを進呈するとともに、正月にはお楽しみ抽選会やあん餅雑煮を提供するなど、入館者・入園者の増加に取り組んだ。

(2) シアター及び館内展示

シアターでは、7月からは「おじゃる丸 銀河がマロを呼んでいる」の上映を開始した。展望談話室では、竹内守善&島俊文二人展 2019 を7月20日から8月までを前期として、11月から12月までを後期として開催した。また、香川県独立の父 中野武営展を9月から10月まで開催した。このほか香川大学生による土日祝日のHashi cafeの運営を行った。

(3) 広報活動

年間を通じて旅行雑誌やタウン誌、ウェブサイトなどから、施設の紹介記事の掲載依頼があり、すべてに対応してPRに努めた。

また、さぬき瀬戸大橋観光協議会による県外キャラバン隊に参加し、関西地域での観光PR活動に取り組んだ。

県内の幼稚園や保育所をはじめ小学校・中学校・高校等に記念館・公園のリーフレットを送付した。特に小・中学校は学年単位に送付することにより、公園が遠足や校外学習に

は良好な場であることを積極的にPRした。

(4) ホームページ

写真等の掲載を多用した情報提供の内容の充実を図るとともに、球技場などの予約状況を随時更新するなど、利用者の利便を図った。

また、TOPページには、360度パノラマビューを配置し、園内・館内の魅力を詳細に発信した。

(5) 共同企画への参加

引き続きアートポート3施設（瀬戸大橋記念館、東山魁夷せとうち美術館、瀬戸大橋タワー）間での英語、韓国語、中国語、台湾語の共通リーフレットを配布した。また、スタンプラリーなど道の駅の各種事業や県が行ったクールシェアかがわに登録するなど、各種団体等との協力体制の強化に努めた。

このほか、総括管理者において、4月から8月まで県下15カ所の公園と連携したさぬきの公園めぐりスタンプラリーを実施した。

(6) 取材等への協力

テレビ、ラジオ、地元ケーブルテレビでの放送、コマーシャル撮影への場所の提供、旅行専門誌・その他の情報誌等への掲載を通じて、知名度のアップに努めた。

2 瀬戸大橋記念館の管理運営

(1) 保守点検等

次のとおり、ブリッジシアター、展示物等の保守点検等を実施した。

また、第1展示室、第2回廊及び第3展示室の映像機器や展示模型の修繕などを行い、利用者サービスの向上を図った。

・館内の管理	毎日、職員による巡回点検
・清掃	毎日
・空調設備の保守点検	年2回及び24時間遠隔監視
・エレベーターの保守点検	年4回及び24時間遠隔監視
・展示物保守点検	年1回

(2) ブリッジシアターの運用

1日6回の定時上映（10:00～、11:00～、12:00～、13:30～、14:30～、15:30～）のほか、10時前でもできる限り観覧者の希望時刻に沿って上映するとともに、遠足などの団体利用客への働きかけや、従来の館内放送に加えて園内や球技場への案内放送などに努めるなど、利用客増のための取組みを行った。

また、高松空港と定期路線化した上海便や台湾便をはじめとする外国人利用客の増加、定着に向けて、作品の一部で導入している英語・中国語・韓国語による音声上映をできるだけ多くの外国人入館者に観てもらえるよう、PR・誘導に努めた。

3 記念公園（北側公園）の管理運営

(1) 施設の管理・運営

マリンドーム説明看板の改修や煙感知器の修繕、芝生広場のスプリンクラーの取替など公園施設の適切な管理を行うとともに、老朽化した藤棚の撤去や枯損等が目立つ樹木の植

え替えを実施し、家族連れや保育所、幼稚園、小学校の校外活動などが楽しく行えるよう快適で安全な公園の維持管理に努めた。また、総括管理委託者の自主事業としてヨガ教室・剪定教室を開催するなど利用者サービスに努めた。

(2) 緑地の管理

剪定・施肥・病虫害防除・灌水・芝生管理・除草・花壇管理・ゴミの収集・施設清掃・植樹及び枯損木の補植等について、指定管理者協定書に基づいて行うとともに、良好な維持管理水準を保つために天候等に応じ作業方法や内容を変更するなど、適切な管理に努めた。

(3) 水景施設（滝・噴水・天の泉）の管理

噴水施設水中ポンプの更新など、安全・安心で、美しく清潔な公園として適切な修繕や維持管理に努めた。なお、作業及び回数については、良好な維持管理水準を保つために、天候等に応じ適切な作業方法や内容に変更した。

(a) 管理

- ・機器設備の定期点検 月 1 回
- ・薬品補給（滅菌剤のタンクへの注入） 随時
- ・滝・池・噴水水路・天の泉の水抜き及び高圧洗浄 年 1 回
- ・天の泉清掃 年 3 回
- ・必要に応じて、循環ポンプやろ過機等の修繕を実施

(b) 運転時間の弾力的運用

- ・4月～6月 11:00～15:00
- ・GW、7月～8月 10:00～16:00
- ・9月 10:00～15:00
- ・10月～11月 11:00～15:00
- ・12月～3月 12:00～14:00

(4) 大型遊具等の管理

国土交通省「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」等に基づいて、年1回専門技術者による定期点検を実施するとともに、目視・触診等の方法による安全確認を行った。併せて適正に利用するよう注意喚起を行った。また、大型遊具「夢橋」床材の取替など遊具について必要な修繕を行い、利用者の安全・安心の確保に努めた。

(5) 記念公園、記念館、マリンドーム及び刻月亭等を使用した主なイベント

記念公園等でのイベント開催に当たっては、設営等に協力し、安全管理を主催者側に促すとともに、障害等が起きないように巡回に努めた。

- 平成31年 4月 7日 讃岐うどんつるつるツーデーウォーク
- 平成31年 4月26日 瀬戸内国際芸術祭2019春会期開幕
- 平成31年 4月28日 メーデーイベント
- 令和 元年 5月 5日 ワールドラフターデーin香川
- 令和 元年 5月12日 さかいで^{しお}鹽まつり
- 令和 元年 5月23日 グラウンドゴルフ大会
- 令和 元年 6月 1日 坂出市保育所親子体力づくり
- 令和 元年 7月14・15日 音楽イベント

令和 元年	7月20・21日	ダンス・バンド発表会
令和 元年	7月20日	竹内守善&島俊文二人展 2019 (8月末まで)
令和 元年	8月10日	ヤドンの日イベント
令和 元年	8月31日	フラダンスフェスタ 2019
令和 元年	9月1日	香川県独立の父 中野武宮展 (10月末まで)
令和 元年	9月8日	はだしフェスタ 2019
令和 元年	9月8日	野外音楽祭
令和 元年	9月22・23日	オンリーワンシャツ作り
令和 元年	10月6日	ダンスイベント
令和 元年	10月12~14日	親子謎解きウォーキング
令和 元年	11月1日	竹内守善&島俊文二人展 2019 (12月末まで)
令和 元年	11月3日	ふるさとの親子まつり
令和 元年	11月4日	ヨガ教室
令和 元年	11月10日	香川県公園絵画コンクール表彰式及び展示
令和 2年	1月2・3日	お正月お楽しみ抽選会
令和 2年	1月4・5日	あん餅雑煮提供
令和 2年	1月26日	凧あげ作り
令和 2年	2月9日	剪定教室

(6) その他

駐車場については、周辺住民の安全と良好な住環境の確保を図るため、暴走行為の縮減を目指して、前年に引き続き、次のとおり閉場した。また、開場については、坂出市道の封鎖解除時刻に合わせて、午前5時とした。

引き続き、坂出市、坂出警察署と連携し、暴走族などの対応に当たった。

(a) 閉場する日

- ・西駐車場 毎日
- ・北・東駐車場 金、土曜日、休日の前日、12月28日～1月2日

(b) 閉場時刻

- ・4月26日～8月 19:30
- ・9月～4月25日 17:30
- ※ 4月は瀬戸内国際芸術祭 2019 の開幕に合わせて変更した。

(c) 閉場した翌日の開場時刻 5:00

4 記念公園（南側公園）の管理運営

(1) 球技場等の利用促進

球技場は、第4グラウンドの改修工事や他のグラウンドの芝生の養生により年間の利用可能回数を75回とし、そのうち61回の利用となったが、一部の利用者に偏らない公正・公平な管理運営に努めるとともに、ホームページで球技場の予約状況が一目で分かるよう最新情報の提供を行うなど、利用者の利便性の向上に努めた。また、毎年2月初めに、県内の優先団体等に照会して日程調整し、年間のスケジュールをほぼ決定しているところである。

7月には、一般社団法人香川県サッカー協会の協力を得て、第11回瀬戸大橋記念公園カップサッカー大会を開催した。

また、ターゲット・バードゴルフ場については、11月から3月まで小川の築造工事に

より9ホールのみでの使用となり、利用者数は前年度より3.5%減少したが、県・坂出市のTBG協会が各種大会を開催するほか、総括管理委託者によるターゲット・バードゴルフ教室の開催など様々な機会を設けて競技人口の拡大に取り組んでいるところであり、これらが一層円滑に運営できるよう芝生及び施設の適切な維持管理に努めた。

(2) 球技場等の管理

球技場は、施設の不具合が原因で利用に支障が出ることをないように、刈込、施肥、殺菌・殺虫・除草剤散布、灌水、ライン引き等、施設全般を常に良好で安全な状態の維持に努めた。また、芝生の育成期である6月には、コアリング、目土散布等の更新作業を実施するとともに、利用に当たっては、芝生の保全・育成上必要な利用制限措置を講じた。

ターゲット・バードゴルフ場は、施設全般を常に良好で安全な状態に保つため、刈込、除草、施肥、病虫害防除を行うなど、適切な維持管理を実施した。作業の実施時期については、ターゲット・バードゴルフの大会や美術館の特別行事等の日程に最大限配慮した。

(3) 緑地の管理

万葉花の回廊の説明板の修繕とともに、樹木の植替えを行った。

また、樹木の刈込、施肥、病虫害防除、除草、灌水を計画的に行うとともに、公園のフェンスの修繕を行うなど施設の適切な維持管理に努めた。

5 新型コロナウイルス感染症による影響

令和2年1月に国内で初めて感染が確認され、その後感染が拡大した新型コロナウイルス感染症による影響としては、2月の下旬から団体客のキャンセル、マリンドーム利用申込みのキャンセルなどが相次ぎ、3月の前年同月との比較で、公園の入園者数は22.5%、8,733人の減少、記念館の入館者数は43.9%、6,797人の減少、売店の売上額は49.6%、380,596円の減少となった。